

「防犯にかける思い」

総合防犯設備士 第07-0220号
株式会社セキュリティハウス 取締役会長

小野 真司



私が防犯設備の仕事を岡山で始めたのは昭和52年、今から41年前のことになります。当時は、まだ「セキュリティ」という言葉も浸透しておらず、今のように価格競争もなく、のんびりとした時代でしたが、反面、お客様の防犯に対しての意識は非常に低く、防犯システムをお勧めしようとしても「鍵をかけたことはない」「犬がいる」「警備システムなど設置したら何か悪いことをしていると周囲から見られる」などと言われ、飛び込み営業をしてもほとんど話を聞いてもらえませんでした。初年度月50万円の売上を目標にしていましたがほとんど売れませんでした。

しかしながら「これからは絶対日本にも防犯設備が必要な時代が来る」との強い信念の元に独りで活動を継続し、お陰様でその後売上も社員も順調に増えていき、昭和59年には「株式会社セキュリティハウス」を設立しました。同じ年にスタートしたセキュリティハウスネットワークに加盟し、中国地方の防犯・防災・防御システム専門企業として地域における防犯についての様々な相談・ご要望にお応えすることを一貫して実施してきました。

そのスタートから41年、犯罪の質が変わり、短時間化・多様化・凶悪化・国際化する一方で、防犯機器・防犯カメラの品質も飛躍的に向上し、41年前には想像の世界でしかなかった色々なことが可能な時代になりました。

弊社はこの41年の間に培った犯罪被害事例や業界全体の商品知識と1万4千件を超える施工経験を活かし、一般ユーザー・官公庁・設計会社・警備会社・電気工事会社・電材商社等からの防犯防災システムの設計依頼に対応しています。防犯システム専門企業として設計協力する際には、犯罪を防ぐために本当に必要なシステムをユーザー目線で提案することを徹底しています。「良い商品を扱い、良い提案をし、良い施工をする」というのが弊社の昭和52年の創業より徹底している営業方針です。お客様にとってどんなシステム・商品が安心・安全・楽になるのかをイメージしてそれを実現することに拘っています。得意の技術力・システム提案

力を活かし、お陰様で地元の岡山県はもとより現在は日本全国からシステム提案の依頼が入るようになってきました。

昭和56年6月、岡山県警察本部のご協力により岡山県防犯設備業防犯協会が発足、その後、事務局長として積極的に活動してまいりました。又、岡山県防犯設備業防犯協会会員として岡山県警察本部より「防犯アドバイザー」の委託を受け、防犯週間期間中の防犯展、警察学校の専科における防犯設備機器講座、各種団体での防犯会議での講演等を実施してまいりました。

今年の弊社の活動の一部を紹介させていただきます。

①万引き防止に向けた責任者会議における防犯講習

防犯カメラの設置促進を目的として防犯カメラの設置事例、設置効果、防犯カメラの市場動向、新技術の特徴等を講習しました。ここ数年で数段に高画質化が進んでいる防犯カメラの鮮明な画像や従来のアナログカメラとAHDカメラ・HD-SDIカメラ・EX-SDIカメラ・ネットワークカメラの特徴等を興味を持って聞いていただきました。

②岡山県金融機関防犯連合会議時総会における防犯講習



金融機関対象の最新の防犯カメラの説明及びその効果・活用方法の講演、霧による威嚇装置「フォグガード」、網による捕獲装置「ネットランチャー」の実演デモを実施しました。特に霧で一瞬に視界を遮る「フォグガード」では会場全体でどよめきが生まれるなど非常に興味を持って見ていただきました。



平成28年6月、創業40年の節目に株式会社セキュリティハウスの代表取締役を長男に譲り、私は取締役会長に就任しました。私自身の「防犯にかける熱い思い」や「理念」は新しい世代の社長や社員に継承することができたと感じています。今後はより地域に密着した活動を実施して地域の安全・安心に貢献していきたいと考えています。

③歳末警戒イベントとして防犯設備の展示

大手スーパー・マーケットの1階スペースに最新の防犯設備の展示を行い、来店客に対して犯罪事例と防犯設備について説明を行いました。

